



同時資料提供  
山口県政記者クラブ  
山口県政記者会  
山口県政滝町クラブ  
下関市政記者クラブ

お知らせ



渋滞が緩和し交通事故が減少しました。

～一般国道2号印内地区交差点改良事業の整備効果について～

一般国道2号<sup>しものせき し ちょうふ いんない ちょう</sup>下関市長府印内町周辺において渋滞緩和や交通安全の確保等を目的に一般国道2号印内地区<sup>いんない</sup>交差点改良事業を進めております。

令和6年2月29日に、印内<sup>いんない</sup>交差点周辺整備が完了し、渋滞緩和及び交通事故減少の効果を確認しましたので、お知らせします。

【概要】

■効果① 印内<sup>いんない</sup>交差点を起点とする広島方面の渋滞が緩和！

- ・ 左折車線の整備により、広島方面印内<sup>いんない</sup>交差点～滑石<sup>なめらいし</sup>交差点間の渋滞が緩和。
- ・ 印内<sup>いんない</sup>交差点を起点とする広島方面朝ピーク時の連続速度低下区間長が約9割短縮。
- ・ 印内<sup>いんない</sup>交差点～滑石<sup>なめらいし</sup>交差点間の平均速度が約2割上昇。

■効果② 渋滞の緩和により急ブレーキ発生回数及び死傷事故が減少！

- ・ 渋滞の緩和により、印内<sup>いんない</sup>交差点～滑石<sup>なめらいし</sup>交差点間の急ブレーキ発生回数が約6割減少し、死傷事故が約7割減少。



■問い合わせ先

国土交通省中国地方整備局 山口河川国道事務所  
総括保全対策官 大下 孝志 (おおした たかし)  
(担当) 交通対策課長 中岡 浩太 (なかおか こうた)  
電話番号 (0835)22-1857

山口河川国道事務所ホームページ <https://www.cgr.mlit.go.jp/yamaguchi/>

事業について詳しくはホームページをご覧ください。

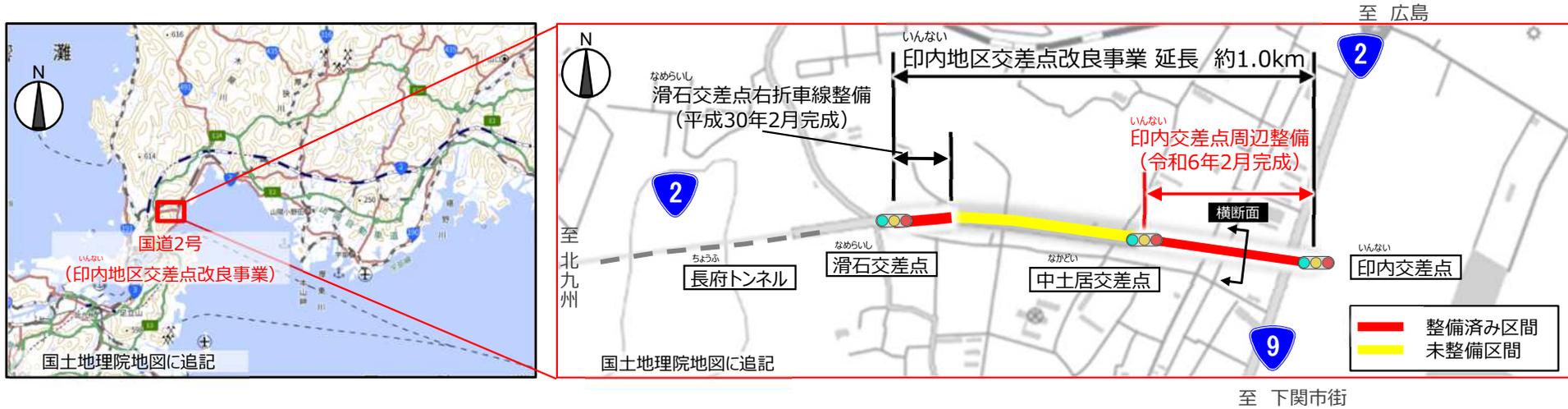
最新情報などを配信しています。

事業説明動画を配信しています。

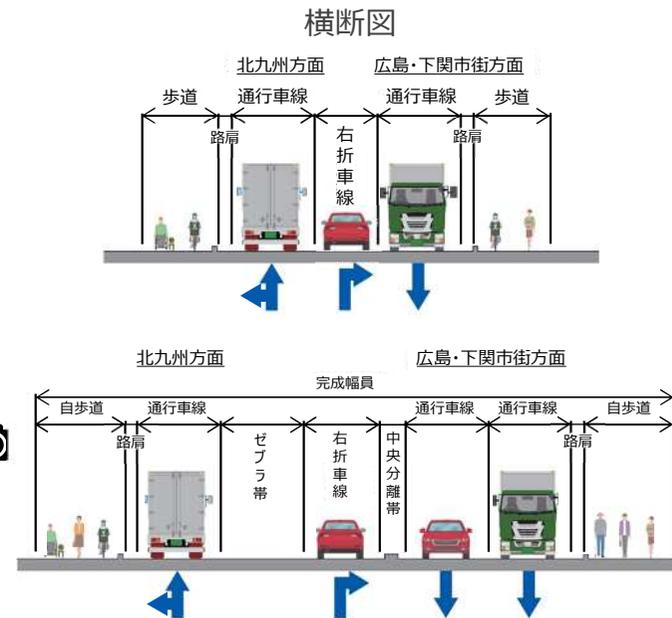
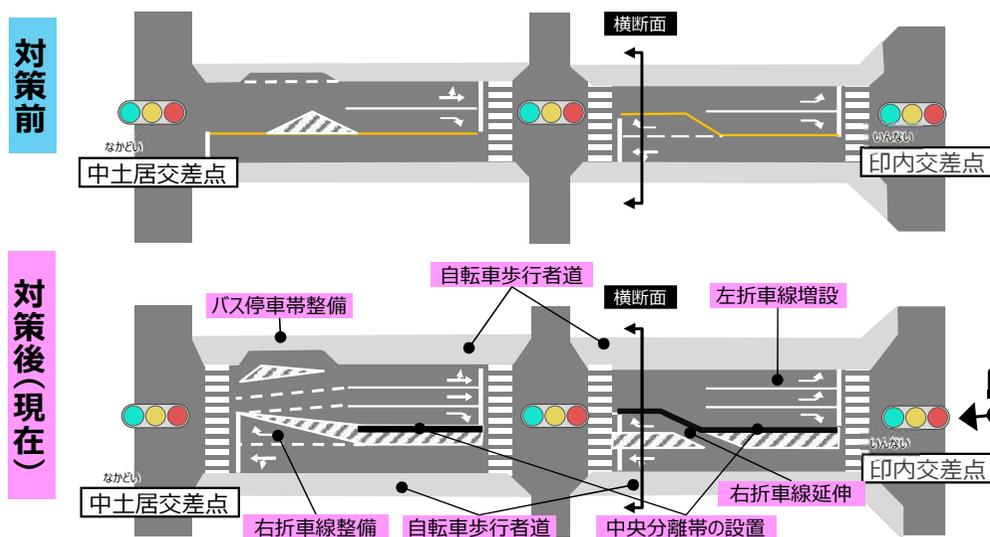


# 1. 対策内容の概要

- 一般国道2号下関市長府印内町周辺では、車線数に対し交通量が多く、慢性的な渋滞が発生。
- また、渋滞を要因とした追突事故が多発しているほか、歩道が狭い区間があり、通学児童の安全について懸念がありました。
- 印内交差点周辺整備として、広島方面の左折車線増設、両側自転車歩行者道整備等を行いました。



## ■ 対策の概要 (印内交差点周辺整備)

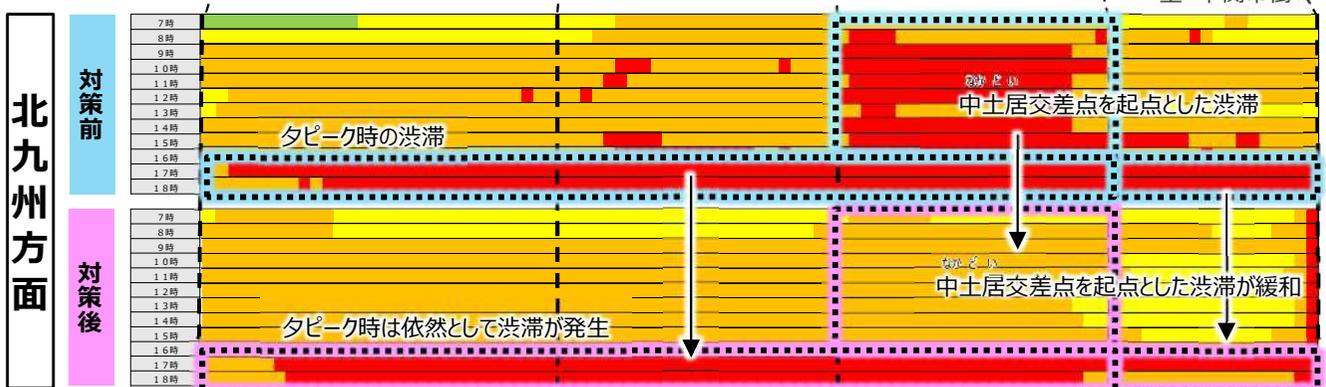


至 下関市街  
至 北九州  
至 広島  
令和7年2月撮影

# 2. 効果① 印内交差点を起点とする広島方面の渋滞が緩和

○対策後、<sup>いんない</sup>印内交差点を起点とする広島方面の渋滞が緩和し、特に朝ピーク時の連続速度低下区間長が約9割短縮しました。  
 ○また、<sup>いんない</sup>印内交差点～<sup>なめらし</sup>滑石交差点間の平均速度が約2割上昇しました。

■ 時間帯別速度状況 【対策前】：H29.9月～11月 【対策後】：R6.9月～11月 出典/ETC2.0プローブデータ



■ 平均速度 平日7時～19時  
 (<sup>いんない</sup>印内交差点～<sup>なめらし</sup>滑石交差点間)



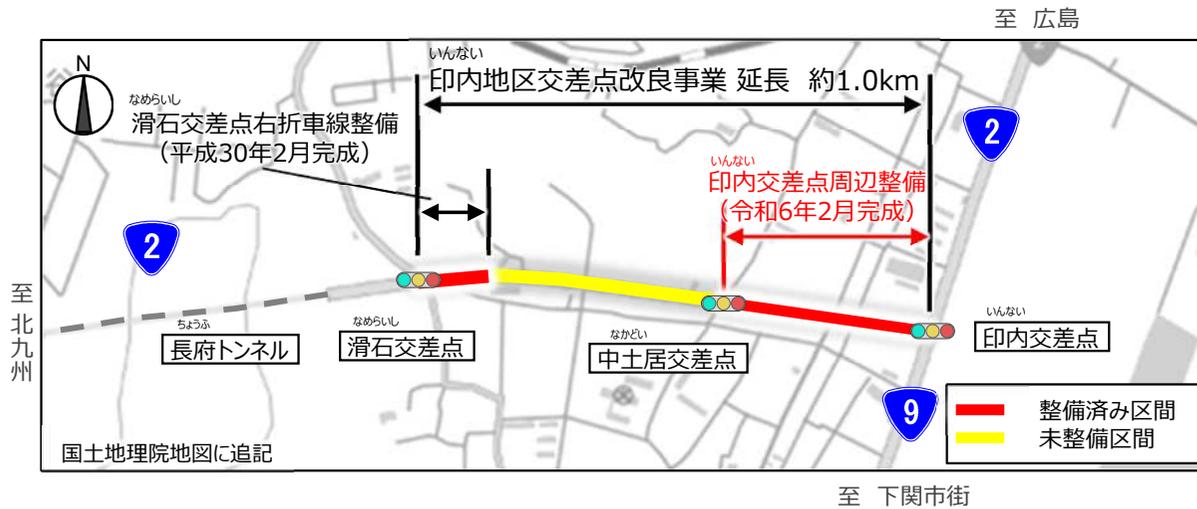
両方向とも平均速度が上昇しました。



【対策前】：H29.9月～11月  
 【対策後】：R6.9月～11月  
 出典/ETC2.0プローブデータ

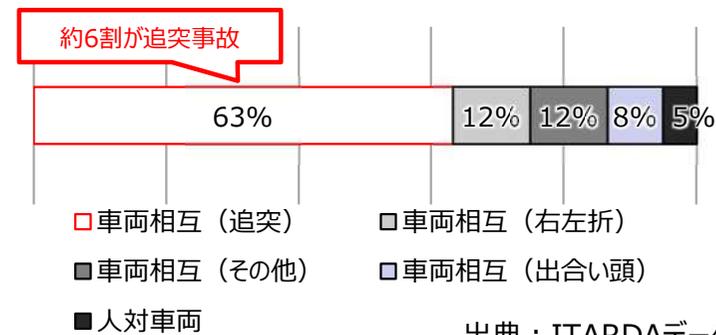
# 3. 効果② 渋滞の緩和により急ブレーキ発生回数及び死傷事故が減少

○対策後、渋滞の緩和により、印内交差点～滑石交差点間の急ブレーキ発生回数が約6割減少し、死傷事故発生件数が約7割減少しました。



## ■ 対策前の事故類型別 (印内交差点～滑石交差点間)

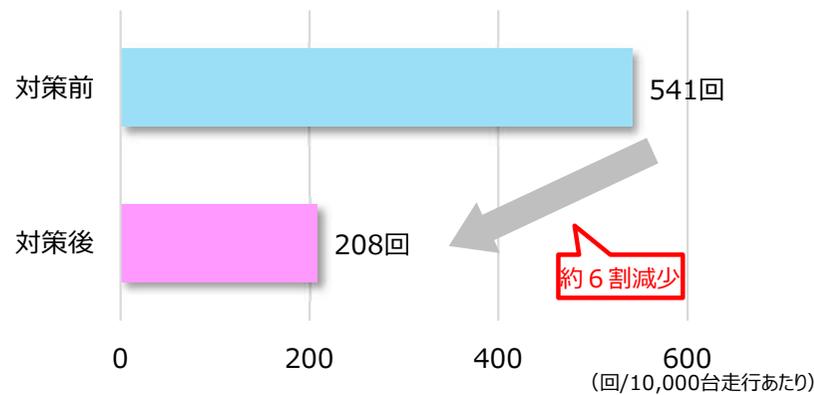
H26.4月～H30.3月の死傷事故発生割合 (総件数60件)  
0% 20% 40% 60% 80% 100%



出典：ITARDAデータ

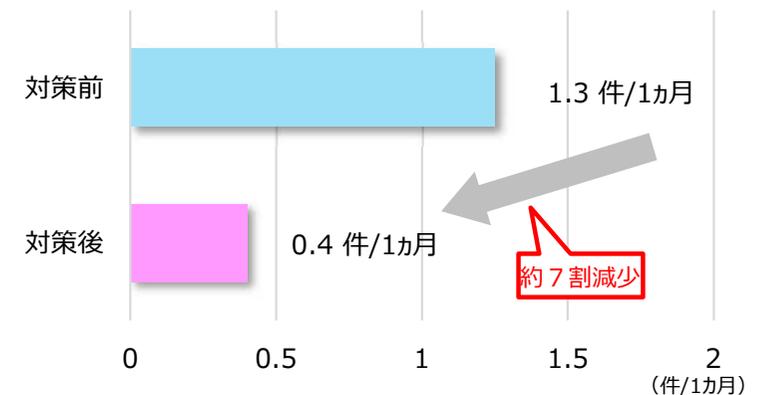
## ■ 急ブレーキ発生回数

(印内交差点～滑石交差点間)



## ■ 死傷事故の発生件数

(印内交差点～滑石交差点間)



出典/ETC2.0プローブデータ (10,000台走行あたりの急ブレーキ発生回数 (減速加速度0.3G以上))  
【対策前】: H29.9月～11月 【対策後】: R6.9月～11月

出典：警察事故データ・ITARDAデータ  
【対策前】: H26.1月～H29.12月の死傷事故発生件数の月平均値  
【対策後】: R6.3月～R6.12月の死傷事故発生件数の月平均値

# (参考) 時間短縮や安全性に関する地域の声

- 印内地区周辺の事業者・学校関係者等へ整備効果について、ヒアリングを実施しました。
- 渋滞緩和による時間短縮効果を感じられており、さらに、広島方面については走行しやすくなったと感じられています。
- 歩道部、バス停車帯部は安全性の向上が感じられています。



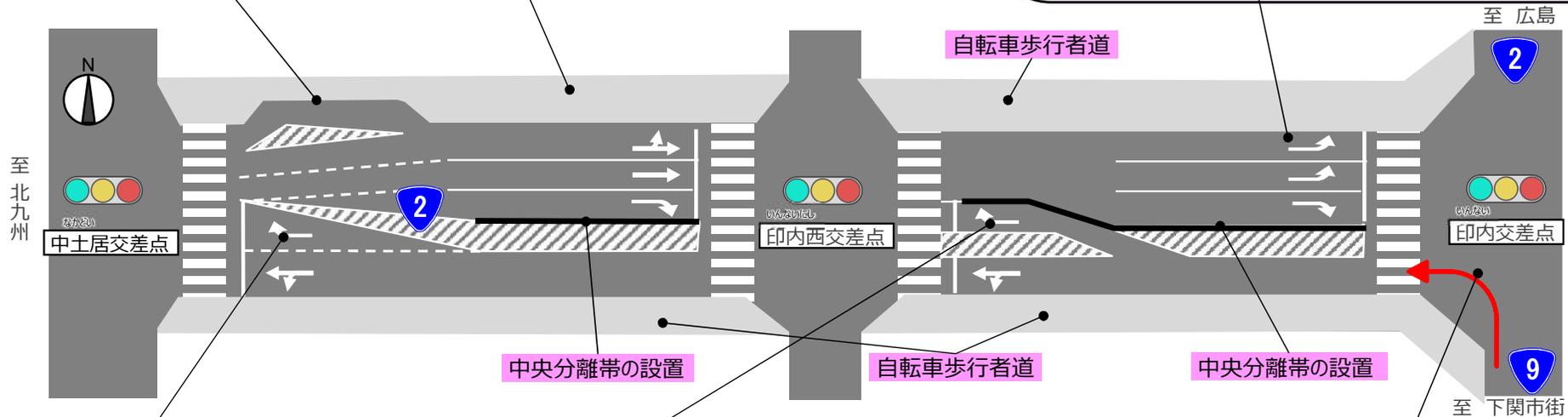
## (バス停車帯整備について)

- ・バス乗降時に児童と歩行者の錯綜が減った。(学校関係者)
  - ・バス停車時に横を通過していく車両を気にしなくてすむ。(バス事業者)
- ## (自転車歩行者道整備について)
- ・歩道の安全性が格段に向上。自転車と児童の接触リスクも減少した。(学校関係者)



## (左折車線増設について)

- 広島方面
- ・信号待ち回数が1~2回減り、時間短縮を感じる。(物流事業者)
  - ・救急搬送時に走行しやすくなった。(消防関係者)
  - ・左折車線が増え、流れが良くなった。(警察関係者)
  - ・車線数が増え、安全に走行できるようになった。(物流事業者)



## (右折車線整備・延伸について)

- 北九州方面
- ・混雑を考慮した通行時間帯の変更や迂回の必要性が減少した。(物流事業者)

- ・国道9号北進左折の混雑が緩和されたことにより、北行の流れが良くなり、工場から国道9号への出庫がスムーズになった。(物流事業者)